

## 令和元年度 第2回旭川市図書館協議会議事録

■日時 令和元年12月5日(木) 午後1時30分～2時35分

■場所 旭川市中央図書館 2階 視聴覚室

### ■出席者(敬称略)

委員長 藤原淳

副委員長 東倉美奈子

委員 大場裕子, 加藤直子, 河田修一, 佐々木好江, 芝木美沙子, 内藤佳和,  
中村瑞恵, 由井久志  
(委員10名)

### ■図書館側

大鷹社会教育部長

岡島中央図書館長

角谷中央図書館副館長, 松山中央図書館副館長(中央図書館事務係係長事務取扱),  
沼田中央図書館副館長(奉仕係係長事務取扱), 川尻末広図書館長, 福田永山図書館長,  
岳神楽図書館長, 板谷事務係主査, 真鳥事務係主査, 富田奉仕係主査, 岡本奉仕係主査,  
谷野奉仕係主査

### ■次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 挨拶(旭川市教育委員会社会教育部長)
- 4 委員長・副委員長選出
- 5 図書館協議会委員長挨拶
- 6 委員自己紹介
- 7 図書館職員紹介
- 8 議事
  - (1) 令和元年度事業実施状況について
  - (2) 第21回図書館まつり実績報告について
  - (3) 令和2年度事業計画(予算要求案)について
  - (4) 第4次旭川市子ども読書活動推進計画について
  - (5) その他
- 9 閉会

## ■提出資料

- 資料1 令和元年度事業実施状況
- 資料2 第21回図書館まつり実績報告
- 資料3 令和2年度事業計画
- 資料4 第4次旭川市子ども読書活動推進計画関係資料

## ■会議の公開・非公開

全て公開

## ■傍聴者

なし

## ■協議内容(要約)

議事に入る前に委員長・副委員長を選出し、委員長を藤原氏、副委員長を東倉氏と決定した。

### (1) 令和元年度事業実施状況について

#### (事務局)

資料1から、令和元年10月末現在での事業ごとの予算執行状況、事業内容及び実績を報告。

#### (委員長)

定例行事についてかなりの回数を実施しているが、前年度と比較して状況はどうか。

#### (事務局)

前年と同程度の事業を実施しており、参加人数はおおむね横ばいの状況です。

### (2) 第21回図書館まつり実績報告について

#### (事務局)

資料2から、図書館まつりの概要、実行委員会ほか関係団体の役割、開催行事内容、参加者数等について報告。

－ (意見等なし) －

### (3) 令和2年度事業計画(予算要求案)について

#### (事務局)

資料3から、令和2年度事業計画(予算要求案)について事業ごとに要求額、予算額の現年度との比較と増減の主な要因、事業内容について説明。

**(委員長)**

学校も同様だが、予算額について非常に厳しい状況と感じられる。

**(4) 第4次旭川市子ども読書活動推進計画について**

**(事務局)**

資料4から、旭川市子ども読書推進計画の概要、基本理念及び基本方針について説明。

次いで、令和3年度から令和7年度を計画期間とする第4次旭川市子ども読書推進計画について、概要と改正の主なポイントとして次の2点を考えていることを説明。

①発達段階ごと（乳幼児期、小学生期、中学生期、高校生期）の効果的な取組を推進すること

②読書への関心を高める取組の充実をはかること

次いで、改正スケジュールと今後の図書館協議会での審議方法等について説明。

**(A 委員)**

計画中の発達段階ごとの効果的な取組について4期に分けているが、乳幼児期については乳児期・幼児期、小学生期も低学年から高学年で発達段階に違いがでてくる。

計画を具体化する中でもう少し細かい区分が必要になるかもしれないと感じる。

中学生期・高校期は区分として問題ない。

**(委員長)**

0歳から12歳までの区分について、細やかな発達段階を考慮した取組があっても良いのではないかとの意見だが、そうした視点も意識して計画に盛り込んでいけるよう検討をお願いします。

**(B 委員)**

読書バリアフリー法が今年施行されたこともあり、特別支援の子どもたちについても計画に盛り込められればと考える。発達段階の枠組みは既定ではないと考えて良いか。

**(事務局)**

主なポイントを軸に計画を改正していきますが、いろいろな意見を取り入れながら計画に盛り込んでいく考えです。

**(事務局)**

資料は第3次計画から第4次計画に改正するにあたり大きな変更点について概要をまとめたものであり、今後、案を作成していく中で、多くの御意見を頂きながら反映できることは反映していきたいと考えています。

**(委員長)**

学習指導要領が来年から小学校、再来年から中学校、その次に高校と改正が行われる。

その中で学校図書館と図書の活用について今までよりも強調される予定である。

計画では学校図書館との連携等も盛り込む必要があると考える。学校図書館の現場ではどのように受け止められているか。

#### **(B委員)**

学校図書館では教科横断的に資料が使用されているが、教師間の連携が難しく上手く活用し難い状況もある。子どもたちが図書や様々なメディアを活用して、小学生から高校生までの間に自ら生きていく力を付ける、そのために必要な計画の全体像とマネジメントの構築が求められている。

子ども読書活動推進計画と上手くかみ合えば良いと考えている。

#### **(事務局)**

教育界の流れも子ども読書活動の推進が求められており、学校においてどのように効果的に図書を活用していくのか、そうしたことも加味しながら計画の改正を進めてもらいたい。

#### **(5) その他**

##### **(事務局)**

自動車文庫巡回地点の新設について住民からの要望があり、館内で検討した結果、「永山8条1丁目 永山しらかば公園前」を新たに巡回場所として来年1月から設置することを報告します。